

令和5年度川連協イベント早春の日帰りバス旅行について

(梅の香りと潮騒の海・巨樹の森で癒される旅)

- 行 先 湯河原幕山梅林～真鶴半島
- 催行日 令和6年(2024)2月26日(月)
- 集合場所 ウェスタ川越
- 集合時間 8:00(予定)
- 行程概略 川越IC(関越・圏央道・東名)～厚木IC(小田厚)～小田原東IC(一般・真鶴)湯河原～幕山梅林～昼食～真鶴ケープ(三ツ石他)～中川一政美術館～小田原東～厚木IC～川越IC
- 会 費 ￥8,000(昼食込)程度を予定(参加人数により変化あり)
会費は各期でまとめ、1月末迄に川連協口座へ振り込みをお願いします。
- 申込期限 各期でまとめて、12月25日(月)までに、人数を担当の丸田へ連絡。
- その他
 - ・参加人数によっては中止となることがあります。
 - ・バスでの座席は、通常の2人掛けに2人着席での運行になります。
 - ・昼食は真鶴港内のレストランで海鮮丼を予定しています。
 - ・通常の雨天では催行いたします。
 - ・また当日、発熱等体調不良の方は参加を取りやめてください。(要連絡)

●湯河原(幕山)梅林 湯河原梅林は、新崎川上流の幕山の山麓に1980年造られた町営の幕山公園にあり、毎年2月～3月中旬に約4000本の梅が咲き誇ります。この梅の時期には「梅の宴」が開催され、出店等が出て賑わう。令和6年は、2月3日(土)～3月10日(日)に開催することになっている。またこの梅は全て花梅で実を収穫しないため、梅の実を利用した地元産のお土産品はないとのこと。

●名勝「三ツ石」 真鶴半島の先端にある海上の岩礁で、正式には笠島といいます。初日の出の名所して著名で、真鶴半島のシンボリックな存在です。干潮時には半島と繋がり、歩いて渡れる神秘的な場所です。神奈川県立真鶴半島自然公園、箱根ジオパーク真鶴エリアの一部となっている。

●ケープ真鶴 真鶴町営の観光施設で名勝「三ツ石」を臨む真鶴岬に位置している。1階には飲食施設・売店があり、真鶴に関する色々な土産物を取り扱っている。2階テラスでは三ツ石をはじめ初島・相模湾を一望出来る食堂もある。また施設内には国内有数のコレクションを誇る「遠藤貝類博物館」もある。施設外には遊歩道も整備され、与謝野晶子の歌碑や幕末に築かれた砲台跡もある。

「わが立てる 真鶴崎が二つにす 相模の海と伊豆の白波」 晶子

●中川一政(美術館) 中川一政は明治26年に東京本郷で生まれた。文芸誌「白樺」に紹介されたゴッホやセザンヌの作品に触発され絵を描きはじめ、長く日本洋画壇の重鎮として活躍した。昭和24年に真鶴町にアトリエを構え、漁村福浦の風景や箱根の名峰駒ヶ岳の雄大な姿を繰り返し描きダイナミックな画風に高い評価を受けた。昭和50年82歳で「文化勲章」を受賞。美術館は、中川一政より多くの作品寄贈を受け平成元年3月に開館した。建物は「第15回吉田五十八賞」を受賞している。